

平成22年3月9日

お知らせ

江の川水系 灰塚ダム・土師ダムの フラッシュ放流を実施します！

～江の川水系のよりよい河川環境づくりを目指して～



H20.3.18 土師ダムフラッシュ放流状況



H20.3.18 灰塚ダムフラッシュ放流状況

江の川水系にある、灰塚ダムと土師ダムは、ダム下流の川の環境を保全することを目的に、次のとおりフラッシュ放流を行います。

フラッシュ放流は、ダムに貯めた水を使って、人工的に小洪水を起こすもので、それによりアユの餌となるコケや川底の泥などを洗い流します。

フラッシュ放流により、河川の水位が上昇します！
水位上昇が予想される間は、危険ですので川に入らないでください！
当日は、河川巡視（パトロール）を実施します。
川を利用される方は巡視員の指示に従ってください。

【水位上昇については別紙のチラシを参照ください】

フラッシュ放流実施日 灰塚ダム 3月18日（木）9：30～

土師ダム 3月23日（火）9：00～

【お問い合わせ先】

土師ダム （電話）0826-52-2455

土師ダム管理所長 野津 保之

管理係長 山下 幸一郎

灰塚ダム （電話）0824-44-4360

三次河川国道事務所副所長 横尾 和久

灰塚ダム管理支所長 浜田 健一



江の川水系フラッシュ放流

灰塚ダムフラッシュ放流（一時的放流）のお知らせ

実施日：平成22年3月18日（木）

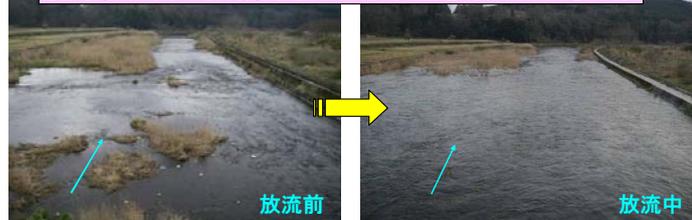
上下川（広島県三次市三良坂町仁賀）に位置する灰塚ダムでは、ダム下流から江の川合流後に至る河川環境保全を目的に、フラッシュ放流（一時的放流）を行います。

この放流により、灰塚ダム下流から江の川合流後にかけて河川の水位が大きく変化しますので、河川域の利用、および、舟の管理等に充分ご注意ください。

フラッシュ放流により予想される水位の上昇

※水位上昇が見込まれる時間帯と上昇量は下図のとおりです。
 ※●の箇所は、特に水位上昇のスピードが速いと見込まれています。

放流中は水位が上昇しますので、注意してください！



【 昨年のフラッシュ放流の様子(上下川の池田地区) 】



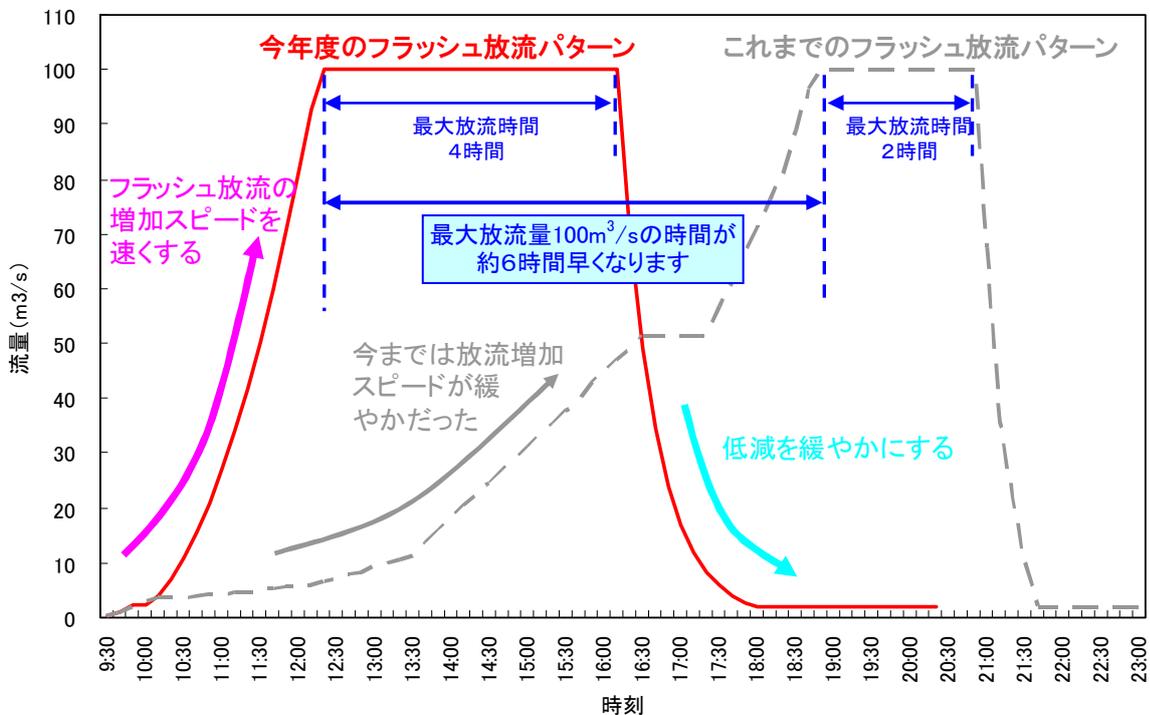
【 フラッシュ放流中の水位上昇時間帯と上昇量 】

川の状態に異常を感じたら、灰塚ダムまで
ご連絡をお願いします

三次河川国道事務所 灰塚ダム管理支所 0824-44-4360

今年度は放流パターンが変わります！！

昨年と比べ、水位の上昇スピードが速いのでご注意ください



- 最大放流量の時間が約6時間早くなります
- 最大放流量の継続時間が長くなります(約4時間)
- 放流終了時には、低減を緩やかにします

【灰塚ダムからのお願い】

- 水位上昇が予想される間は、危険ですので川に入らないで下さい
- 当日は、河川巡視(パトロール)を実施します
- 川を利用される方は巡視員の指示に従って下さい

今年も頑張って川を綺麗にするので、
応援よろしくお願いします！

灰塚ダムに関する情報が満載です。

灰塚ダム管理支所 ホームページ
<http://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/haizuka/>





江の川水系フラッシュ放流

土師ダムフラッシュ放流（一時的放流）のお知らせ

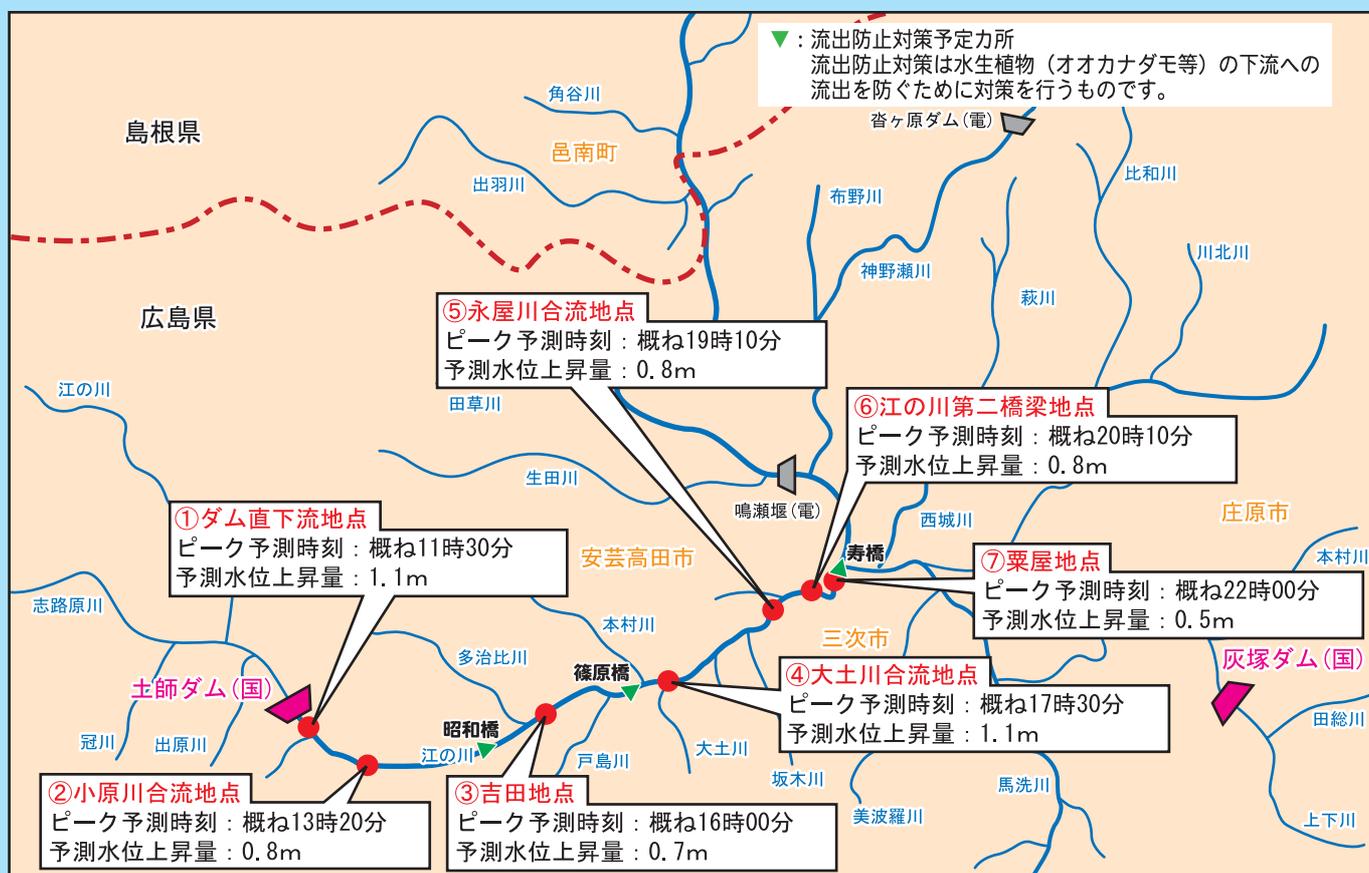
実施日：平成22年3月23日（火）



江の川上流（広島県安芸高田市八千代町）に位置する土師ダムでは、ダム下流から馬洗川合流点（広島県三次市）までの間における河川環境保全を目的にフラッシュ放流（一時的放流）を行います。

この放流により、土師ダムの下流の八千代町、吉田町、甲田町及び高宮町の江の川流域では、河川の水位が大きく変化しますので、河川域の利用、および、舟の管理等に充分ご注意ください。

土師ダムフラッシュ放流によって予測される各地点の水位上昇量とピーク時間は、下図のようになりますので、ご注意ください。



☆☆《詳しくは裏面をご覧ください》☆☆

おねがい

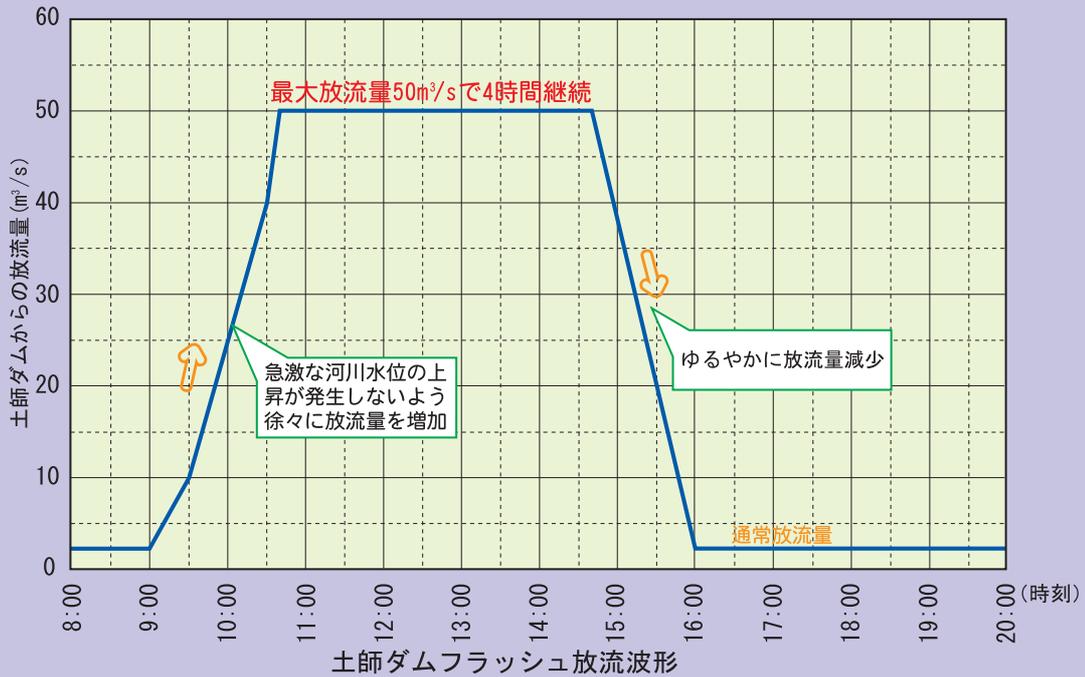
- ・放流予定日には河川域（川の中、河川敷などの場所）に近づかないようにして下さい。
- ・放流開始前にはサイレンでお知らせしますので、直ちに河川域から離れて下さい。
（注：サイレンが鳴った直後に水位が急上昇することはありませんが、速やかな移動を御願います。）
- ・川の状態に異常を感じたら土師ダム管理所までご連絡を御願います。

国土交通省中国地方整備局 土師ダム管理所 Tel: (0826) 52-2455 Fax: (0826) 52-2457

○フラッシュ放流とその目的

土師ダムでは、午前9時に放流を開始し、午後4時00分頃まで継続する予定です。

放流開始後、急激な河川水位の上昇が発生しないよう徐々に流量を増加させて、午前10時40分頃に最大毎秒50立方メートルの放流量に達し、ピーク継続時間は4時間を計画しています。



今回のフラッシュ放流は次の目的を持っています。

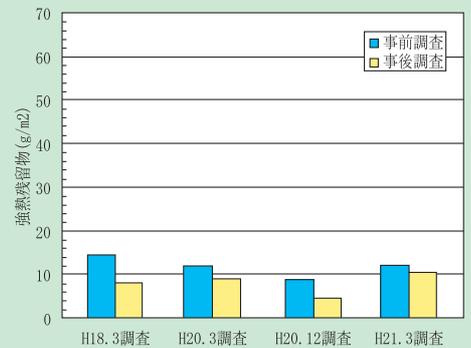
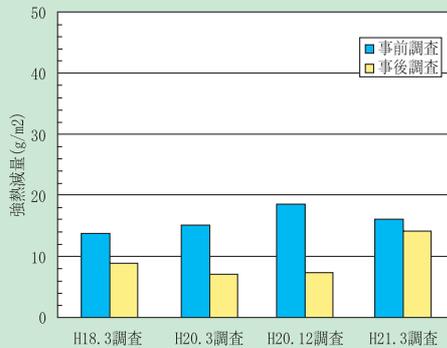
- ・魚類、底生動物の生息環境を改善するために、付着藻類を剥離・更新する。
- ・河床付着泥および河床材を掃流し、河床に繁茂する水生植物を解消する。
- ・景観障害、異臭の原因となっている“よどみ水”を除去する。

フラッシュ放流の実施効果

平成18年3月28日、平成20年3月19日、平成20年2月19日、平成21年3月25日に実施したフラッシュ放流の実施効果を付着物質の変化で表し、右図に示しています。

何れの地点も、既往の調査で付着物の減少が確認されています。

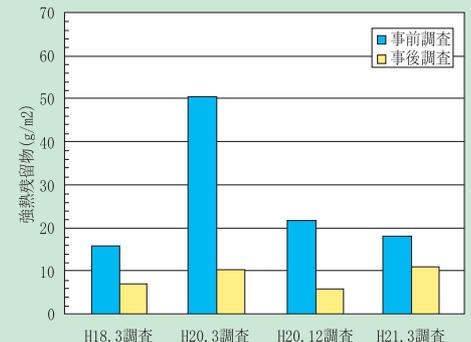
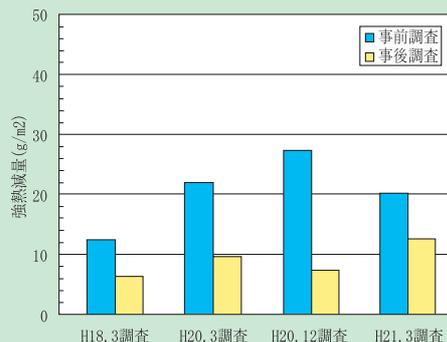
(注：図中に表した「強熱減量」は「有機物」、「強熱残留物」は「無機物」のことです。)



過去の放流による付着物調査結果【土師ダム直下 (河川図①) 地点】



フラッシュ放流状況



過去の放流による付着物調査結果【吉田 (河川図③) 地点】